



なかざわ 裕隆 中沢ひろたか県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

新型コロナウイルス再流行に備え

医療提供体制の確保を

病院に協力金支給

中核市・柏市の一層の発展に力を注いでいる中沢裕隆県議(3期)は、6月定例県議会で自民党を代表して質問に立ち、県政の課題や施策について質しました。質問時間の多くを新型コロナウイルス対策について費やし、再流行に備えた医療提供体制の確保や大きな影響を受けた中小企業への支援などについて森田知事ら県執行部に聞きました。検討が進められている千葉柏道路については、野田市から印西に至るルートについて検討の場が設けられることが報告されました。中沢県議の質疑と県執行部の答弁を抜粋して紹介します。



新型コロナウイルス感染症予防のため、マスクを着用して代表質問を行う中沢裕隆県議

6月定例県議会代表質問

中沢議員 新型コロナウイルス感染症に対する医療提供体制等の確保についてうかがう。

現在は、県内の感染者も少ない状況が続いているが、今後の再度の感染拡大も想定し、医療提供体制を確保していかなければならない。

頑張っている医療機関に対し、県としても、患者発生の際に早期に患者を受け入れていただくため、あらかじめ病床を確保しておくための経費や、重症化した際に必要になる施設や設備

の整備に関する経費の補助など、財政面からも支援が必要と考える。

そこだろうかすが、患者を受け入れる病床の確保及び医療機関に対する支援にどのように取り組んでいくのか。

知事 病床の確保については、現在の感染状況や第一波の経験を踏まえ、さらに専門家のご意見もあがいているが、改めて必要病床数等の見直しを行いました。具体的には、「安定期」「拡大期1」「拡大期2」「オーバースhoot前」の4区分とする必要病床数を設定し、医療機関とその確保に向けて調整しているところです。

6月補正予算においては、今後の感染拡大に備え、「拡大期1」を想定し、仮に毎日40人の感染者やクラスターが複数発生しても、患者を受け入れられる病床の数として500床を見込んでいます。

また、患者を受け入れる病院においては、人員体制の確保や院内感染防止対策のため負担が大きくなっていることから、患者ひとり当たり50万円の協力金の支給や、確保していただい

ている病床に係る支援、医療資機材等の整備補助などを行うまいります。

さらに、国の補正予算も踏まえ、追加の支援も検討してまいります。

要望主 中沢議員 国全

融資、リーマンショック超え

中小企業支援の特別資金

中沢議員 県は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、売り上げ減少等の大きな影響を受けた中小企業の金融支援として、実質無利子、無担保の県制度融資「新型コロナウイルス感染症対応特別資金」を設けた。

そこだろうかすが、「新型コロナウイルス感染症対応特別資金」の活用状況はどうか。

滝川副知事 県では、新型コロナウイルスの影響による売上減少等があつた中小企業に対し、実質無利子・無担保での融資となる「新型コロナウイルス感染症対応特別資金」を設け、5月1日から各金融機関において取扱いが始まったところです。

県としては、円滑な融資実行が重要であると認識し、金融機関に対し、柔軟そして速やかな対応を要請してまいりました。

各金融機関においても、県の要請を踏まえた対応を行っていただいております。融資利用は、これまでで7670件、約1646億円であり、平成20年のリーマンショック時をすでに超える状況となっております。

中沢ひろたかプロフィール

略歴

- 昭和45年6月19日生まれ
- 麗澤高校・大学卒業
- 柏市議会議員(3期)
- 千葉県議会議員(3期目)
- 総合企画水道常任委員会委員長
- 総務防災常任委員会委員長

現職

- 商工労働常任委員会委員長

自然災害被災者の生活再建

県支援制度拡充すべし

中沢議員 台風などの自然災害で住宅が半壊するなどの被害を受けた世帯には、国の被災者生活再建支援制度により、被災者生活再建支援金が支給される。

被災者を支援するため、平成27年4月に県独自の千葉県被災者生活再建事業を創設した。

しかしながら、この事業においても適用要件があるため、依然として、国の支援制度、県事業のいずれからも救済が受けられない被災者が生じる恐れがある。

そこで、拡充を図るべきと思うがどうか。

高橋副知事 県では、国の被災者生活再建支援制度の適用とならない被害に対し、連たんだ地域で10世帯以上の全壊被害が発生した場合、支援金を被災世帯に支給する独自の支援制度を設けております。

しかしながら、県内で散発的に全壊被害が発生した場合などは、現行の国や県による支援制度が適用されない事例が生じることがあります。

そこで、同じような災害で支援に大きな差が生じることなどが無いよう、適用要件の緩和・見直しを様々な観点から速やかに検討し、被災者支援の充実に取り組んでまいります。

中沢議員 千葉県中小企業復旧支援事業の進捗状況はどうか。また、台風被害に係る県制度融資の活用状況はどうか。

千葉柏道路、県北西部の交通円滑化に期待

中沢議員 現在、国では、国道16号や県北西部の交通円滑化を目指し、千葉柏道路の検討を進めているとのこと。今後この地域がさらに発展していくためには、千葉柏道路の計画の具体化が急務であると考えます。そこで、どうか、千葉柏道路の検討状況はどうか。

高橋副知事 千葉柏道路は、県北西部において、国道16号などの交通の円滑化とともに、県内外との交流・連携を強化し、地域の活性化

野田市—印西市ルートを検討へ

生産性の向上を図る上で重要であると考えています。6月3日に、国、県等で構成する「千葉県道路協議会」を開催、令和元年東日本台風による豪雨災害や、外環開通後の国道16号の交通状況等も踏まえ、野田市から印西市間のルートについて国で新たな検討の場を立ち上げ、検討を進めていくことを確認しました。

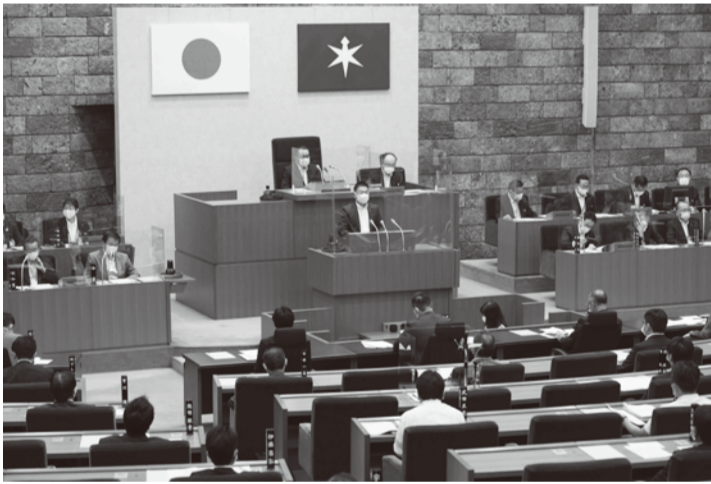
県としては、引き続き、国に協力し、関係市との調整も含め、早期に計画の具

体化が図られるよう、積極的に取り組んでまいります。**中沢議員** 千葉柏道路は、慢性的な交通混雑の解消だけでなく、災害時における代替性、多重性を高めるとともに、地域の活性化、生産性の向上を図り、本県のポテンシャルを十分に発揮する上で、非常に重要な道路。早期に計画の具体化が図られるよう、国と連携して力強く取り組んでいただくよう要望する。

野田市—印西市ルートを検討する。

26河川の作成・公表完了

洪水浸水想定区域図



密を避けるため、座席の間隔が開けられた県会議場

開を支援する、千葉県中小企業復旧支援事業については、本年4月30日まで受付を行ってまいりました。724事業者から総額約25億円の補助申請があり、6月12日時点で42件、約1億円余りの交付決定を行

ったところです。また、台風被害に係る県制度融資については、台風が上陸した9月9日の1週間後には、セーフティネット資金を発動いたしました。5月末時点で579件、約137億円の利用があり、

補助金交付までのつなぎ資金などに活用していただいております。被災した中小企業が、一日も早く再建を進めることができるよう、引き続き、迅速な事務執行に努めてまいります。

水位周知河川以外の河川についても、近年、越水による被害が発生していることを踏まえ、国が6月に策定予定の手引に基づき、氾濫推定図を作成し、住民へ周知するなど、被害軽減に取り組むこととしてまいります。

ます。また、早期に市町村が洪水ハザードマップを作成できるよう、作成方法などの助言を行っています。また、

引き続き、市町村と連携して、逃げ遅れによる人的被害をなくすことを目標に取り組みでまいります。

土砂災害警戒区域 予定の半数を指定 5月末

中沢議員 土砂災害警戒区域等の指定に向けた現状と今後の取り組みはどうか。

高橋副知事 県では、区域指定に必要な基礎調査を昨年度末に完了し、その結果を5月末までに関係住民及び市町に周知しており、住民には自発的な避難行動に結びつけていただき、市町には避難勧告等が確実に発令されるよう取り組んでいます。

区域指定については、本年5月末までに50%を目標として、取り組んできたところ、土砂災害警戒区域を指定予定の1万980箇所のうち、5824箇所の指定を完了し、指定率は53%となりました。引き続き、令和3年5月末までの指定完了を目指し、着実に区域指定を進めてまいります。

また、区域指定を予定していない箇所での土砂災害が全国で確認されたことを受けて、国が6月に改訂を予定している基本指針に基づき、今年度から、数値標高モデルを用いて危険箇所を抽出し、また、「市町村との情報共有の仕組み」により危険箇所を把握し、基礎調査を実施することとしており、土砂災害から命を守る取り組みを更に進めてまいります。

引き続き、市町村と連携して、逃げ遅れによる人的被害をなくすことを目標に取り組みでまいります。

千葉県・柏市についてのご意見、ご要望をお聞かせください。
中沢裕隆 政務調査事務所
 〒277-0061 柏市東中宿3-1-2 アーバン千代田店舗C
 TEL.04(7173)4791